

APN・神戸大学連携セミナー

身近な森のたくさんのふしぎ、 たくさんの課題

～30年後の森林環境を考える～



皆さんはどれだけ「森」のことを知っていますか？

森の中に一歩踏み込めば、そこには様々な不思議が広がっています。日々の生活から遠いようで、実は身近な森。身近な森から世界の環境を考えてみませんか。

このセミナーでは、なぜこの研究を始めたのか、どうやって研究者になったのかなど、講師のこれまでの道のりも解説！ぜひご参加ください。

大学生、高校生
大歓迎！

日 時：2021年3月28日（日）13：00～15：30

開催方法：オンライン開催（Zoom）

内 容：

第1部 講演

1. 黒田 慶子 「森の中の生存競争…昆虫と微生物と樹木」
神戸大学大学院農学研究科教授 森林資源学研究室
2. 佐久間 大輔 「見えるきのこから見えない地下を考える：森を理解するために」
大阪市立自然史博物館・学芸課長
3. Evonne Yiu 「里山を元気にしよう！ SATOYAMAイニシアティブから考える森林保全の重要性」
国連大学リサーチコンサルタント

第2部 パネルディスカッション 15：00～15：30

申し込み方法：①氏名②職業、所属（学校名・企業名等）

③連絡先（E-Mail）④年代（任意）をご記入の上、

apnseminar@gmail.com まで送ってください。

右のQRコードからでも申し込みできます。

申込締切 3月24日(水)



共催 アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）

神戸大学農学部

後援：兵庫県教育委員会、兵庫県

《プログラム》

13：00～13：10 主催者挨拶、講師紹介

13：10～15：00 講演

- ① 黒田 慶子 「森の中の生存競争・・・昆虫と微生物と樹木」
神戸大学大学院農学研究科教授 森林資源学研究室

森林内では、植物や動物以外にも昆虫や微生物などさまざまな生き物が生息しています。今日はその中で、微生物（真菌類、カビ）と共生する養菌性キクイムシと樹木の間接関係を紹介いたします。キクイムシは、大木を枯らして繁殖できると、生存競争の上でどう得するのでしょうか。

- ② 佐久間 大輔 「見えるきのこから見えない地下を考える：森を理解するために」
大阪市立自然史博物館・学芸課長

枯れ木を腐らせるきのこ、落ち葉を腐らせるきのこ、きのこ＝分解者というイメージが強いかもしれませんが、きのこには植物と共生したり、昆虫に寄生したり、また他のきのこに寄生したり、と複雑な生物間の相互作用のかなめを担う存在です。簡単にはわからない地下の世界ではありますが、きのこから興味を広げてもらえればと思います。

- ③ Evonne Yiu 「里山を元気にしよう！ SATOYAMAイニシアティブから考える森林保全の重要性」
国連大学リサーチコンサルタント

森林は木材、食料、生物多様性保全、二酸化炭素吸収などの生態系サービスを供給し、健全な地球環境と私たちの生活の維持にとって重要な役割を果たしている。しかし現在日本をはじめ、世界各地の身近な森林である里山は手入れ不足によって様々な課題に直面している。国内外の活動紹介を通じて、私たちにもできる里山を元気にする方法について考えましょう。

14：40～14：50 休憩

14：50～15：30 パネルディスカッション、Q&A

申し込み方法：

- ① QRコード：右のQRコードでアクセスいただき、参加申込フォームにご記入のうえ送信してください。
② E-Mail: 1.氏名 2.職業、所属（学校名・企業名等） 3.連絡先（E-Mail） 4.年代（任意）をご記入の上 apnseminar@gmail.com まで送ってください。申込締切 3月24日(水)

お申込みいただいた方には、確認メールをお送りします。3月24日(水)までに確認メールが届いていない場合は、下記にお電話ください。



問合せ先：アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（担当：丸山、関）
E-mail: apnseminar@gmail.com
電話：078-230-8017